



て・あーて, TE・ARTE®

東京 “て・あーて塾” 開催のご案内

2017年10月吉日

主催：一般社団法人日本で・あーて推進協会

代表 川嶋みどり

共催：健和会臨床看護学研究所

日本で・あーて, TE・ARTE, 推進協会は、東日本大震災のあと、被災地での活動を始めた看護職の集団です。被災地での支援活動をするとともに、質の高いケアを提供する人材育成にも取り組んでいます。そのひとつが、“て・あーて塾”です。

“て・あーて”とは、手を用いたケアの総称です。人間が生きていくために欠かせないありふれた日々の営みが、病気や高齢などで不自由になった場合、看護職も介護職も手を用いてお世話をします。看護も介護もケアという言葉でつながっています。痛むところにそっと手をあてる、不安な人の手を握るなど、病を癒し、苦痛を和らげるために手を用いてきました。ところが、医療の高度化が進み、効率をモットーとする中、併せて、人手不足なども影響し、手を用いたケアが次第におろそかになっています。

そこで、改めて手の価値を考え、現場で直ぐに実践できるように“て・あーて塾”を開催いたします。“て・あーて”の基本である“そばにいる、聴く、触れる”関わりは、患者さん、利用者さんに安寧（気持ち良さ）をもたらす、自然治癒力を引き出します。今回は、そのケアのなかでもとりわけ有用でありながら、次第に実践されなくなりつつある“熱布バックケア”の実践・普及を目指したプログラムを準備いたしました。また、“て・あーて”を実践して、数々の成果を挙げている看護管理者の報告も予定しています。

手のわざを身につけ、患者さん、利用者さんの思いを聴き、QOLを高めるケアが実践できるエキスパートを目指しましょう。今の現場を何とかしたいと願う看護職・介護職のみなさん、どうぞ奮ってご参加下さい。申し込みをお待ちしております。

開催日：2017年12月9日(土)-10日(日)

場 所：千住介護福祉専門学校 5階講堂・3階実習室
(東京都足立区千住仲町14-4)

参加費：20,000円（昼食は各自でご準備下さい）

※本協会会員は1割引 ※て・あーて塾修了生は、修了書1枚につき1割引
(いただいた参加費は、被災地支援の活動の一部に活用させていただきます)

準備するもの：バスタオル2枚、着替え（Tシャツなど着脱容易なもの）

参加募集：先着30名(定員になり次第〆切)

申込方法：

1) 以下の項目を記入し、**E-mail:kenwa-rinkanken@nifty.com**、または **FAX:03-5813-7396** までお申込下さい。

①お名前 ②年齢 ③性別 ④所属 ⑤職種と経験年数

⑥連絡先 **E-mail** (添付ファイルが開けるアドレス)、または**郵送先住所**

2) 申込と同時に、以下の口座に参加費をお振込ください。

振込先：りそな銀行千住支店 普通口座 口座番号 1832384

社) 日本で・あて、TE・ARTE, 推進協会

3) 参加費の振り込みが確認できましたら、参加証をお送りいたします。

※振込期限は、11月30日(木) 12時です。

なお一旦振り込まれた参加費は、返金いたしかねますのでご了承ください。

連絡先：日本で・あて、推進協会

〒120-0022 東京都足立区柳原 1-29-16 事務局(宮城・中山) ☎03-5813-7395

【プログラム・講師】

12月9日(土) 9:30~受付

9:55~ オリエンテーション

10:00-12:00 講義①て・あての思想

川嶋みどり (日本で・あて推進協会代表)

12:00-13:00 休憩

13:00-14:00 講義②て・あてに取り組む

重見美代子 (美須賀病院看護部長/て・あて塾修了生)

14:10-16:30 講義・演習③④熱布バックケアの効果・方法

平松 則子 (日本で・あて推進協会副代表)

12月10日(日) 9:30~受付

10:00-12:00 講義⑤気持ち良さをもたらす看護ケア

縄秀志 (聖路加国際大学看護学研究科 教授)

日本看護技術学会「気持ち良さをもたらす看護ケア班」代表)

12:00-13:00 休憩

13:00-14:30 演習⑥熱布バックケア・技術の獲得

平松 則子

14:40-15:10 グループワーク⑦経験交流

15:20-16:20 講義⑧熱布バックケアの普及者になろう

川嶋みどり

16:20-16:30 修了書授与 終了